

R7年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

| | | | | | |
|------|-------------------------------|-----|-------|-------------------|--|
| 法人名 | 社会福祉法人 太陽福祉会 | 代表者 | 鹿野 勇 | 法人・ 事業所 の特徴 | 法人内で各委員会の取り組み、研修会を実施しており、また法人全体で事業所の運営、行事の開催をバックアップしています。事業所の理念を「笑い・楽しみ・役割」とし、ご利用が安心して過ごせるよう日常の家事を職員と一緒にを行い、必要に応じて自宅へ訪問して安心して自宅で生活できるよう支援しています。事業所を田村地区、関集落の行事が開催できる場所として提供し、地域の方々との交流に努めています。 |
| 事業所名 | 小規模多機能型 居宅介護施設 田村ゆうゆうの里 | 管理者 | 才本 和生 | | |

| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
|-----|-------|----------|-----------|-----|-------|------------|-------|-------|-----|----|
| | 1人 | 人 | 2人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 2人 | 人 | 5人 |

| 項目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
|----------------|---|---|---|--|
| A. 事業所自己評価の確認 | 家族会の開催を年2回行い、ご家族の交流や事業所へのご意見を伺う機会を増やす。いただいたご意見を施設運営や日々の支援に繋げ、事業所の取り組みやご利用者への支援について発信する。 | R7年7月と11月にご家族と共に作る家族会を実施。ご家族と職員との心の距離が縮まり、意見交換がしやすい関係づくりの機会となった。事業所での様子を直接伝えることで、支援内容の理解を深めていただくことができた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ご家族との交流を大切にされるのは良い事だと思う。家族会の事業所への意見を聞いてもらえる場合は大事なことだと思う。 ・事業所自己評価に対し「情報収集・共有・勉強会・努め」と語源化されているが、具体的な手段・方法がわかりにくく見えにくい。 | 引き続き家族会を年2回開催し、これまで参加できていないご家族へ参加しやすい日時や方法を工夫する。いただいたご意見は全職員で共有し支援や運営に活かしその内容は事業所からの便りなどで全てのご家族に分かりやすく伝える。 |
| B. 事業所のしつらえ・環境 | 事業所内園庭での活動（体操や園芸等）を積極的にを行い、地域の方に気軽に声をかけていただけるように間口を広げる。 | 花や野菜の苗をご利用者と一緒に地域へ出向いて購入し、事業所の畑やプランターで育て収穫した。園庭作業中には地域の方と挨拶を交わすなど、気軽に声をかけていただく機会があった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・R7年11月の家族会に初めて出席してとても良かった。スタッフの皆がひとりひとりの様子を見てくれている様に思った。 ・アットホームな雰囲気であり、地域と交流される行事があり良かった。 | ご利用者や職員の様子ที่わかる園庭活動をつづけ、地域との交流の機会を増やして事業所からの情報発信に努める。 |
| C. 事業所と地域のかかわり | 介護教室等を行い、事業所が「認知症あんしんサポート窓口」であることを知っていただけるような活動を行う。 | 地区だよりで事業所が「認知症あんしんサポート窓口」であることは発信していたが、介護教室等の具体的な活動については実施できていない。 | 地域資源を活用し外出に出かけられている。ご利用者は気分転換になり大変良いことだと思う。 | 介護教室や地域イベントで「認知症あんしんサポート窓口」としての周知を行い、チラシや便りで参加できない方にも情報を伝える。 |

| | | | | |
|--------------------------------|--|--|--|---|
| <p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p> | <p>ご利用者が在宅での暮らしを継続し自己実現できるよう、事業所の強みである「通い」「泊り」「訪問」を軸にして、買い物支援等の柔軟なサービスを提供する。</p> | <p>ご本人やご家族のニーズに沿って支援を行っており、特に泊りサービスは充実している。希望に応じて馴染みの場所へのドライブや買い物支援も行っている。</p> | <p>泊り支援が充実しており、利用者、家族の意向に合った支援として職員体制をとっていると感じた。小規模多機能型施設の柔軟な対応であると思う。</p> | <p>「通い・泊り・訪問」を活かし、ご本人やご家族の希望に沿った柔軟な支援を行い、外出や買い物など、生活や自己実現につながる活動を積極的に取り入れる。</p> |
| <p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p> | <p>区長・民生委員の方から地域の取組み・心配な方の情報提供や事業所からの情報発信の場を設け、事例検討・地域での取組みを一緒にいき改善に繋げる。</p> | <p>独居高齢者の自宅での様子などについて情報提供を受け、事業所として可能な支援について運営推進会議で検討を行った。</p> | <p>ヒヤリハット・事故の報告を運営推進会議でしていただき、その都度改善策を報告され意見検討の場となっていると感じた。</p> | <p>区長・民生委員の方から地域での生活に不安のある方に関する情報提供を受け、事業所でどのような対応が出来るかを検討し支援に繋げる。</p> |
| <p>F. 事業所の防災・災害対策</p> | <p>事業所の防災訓練（消防避難訓練）に参加いただけるよう、運営推進会議を通じて発信し参加をお願いします。</p> | <p>事業所の防災訓練の内容は運営推進会議の中で報告できたが、防災訓練の参加は日程や各々の都合もあり出来なかった。</p> | <p>訓練の報告のみで「地域との協働はどうするのか」「協力を得るには」など会議内ではなかったように思う。地域の協力がえられる取組みが必要。</p> | <p>事業所の防災計画を運営推進会議の中で発信し、会議参加メンバーから意見や改善点をいただき防災訓練に活かす。</p> |

